

## 新型コロナウイルスと防災

新型コロナウイルス感染症は、3密の環境下で感染拡大のリスクが高いとされていることから、災害時に多くの人が集まる避難所においても感染予防対策が重要です。

※町が開設する避難所は感染対策を行っております。

### ◆避難する場所の検討

避難とは「難」を「避ける」行動のことです。避難所に行くことだけが避難ではありません。

自宅の安全が確保されている場合は自宅に留まることも避難になります。避難所以外にも安全が確保できる親戚や知人宅などへの避難も検討しましょう。その際には換気を十分行うなど、感染予防に努めましょう。車中避難をする場合には、車を止める場所の安全を確認したうえで、エコノミークラス症候群にも注意が必要です。

※エコノミークラス症候群とは、動作が少なく長時間同じ姿勢でいると下肢が圧迫され、血流が悪くなり血栓(血のかたまり)が

できやすくなり、できた小さな血栓が肺の静脈を詰まらせてしまうことで発症します。

### ◆避難場所や危険箇所の確認

近隣の避難所や周辺の危険箇所について、事前に確認しましょう。また、避難経路の安全確認も重要です。

町では、総合防災訓練を毎年実施しています(今年は9月5日)。訓練に参加をして、自宅から避難場所までの距離や時間などを確認しておきましょう。

### ◆衛生管理に必要な物資などの避難所への持参

感染予防のために、非常用持ち出し袋に次のものを追加をしましょう。

マスク、体温計、消毒、除菌シート、タオル

### ◆避難に注意しましょう

- ・テレビなどから気象情報を収集しましょう。
- ・安全なうちに早期に避難しましょう。

- ・土砂災害、洪水災害など、移動に危険が伴う場合は、2階への

垂直避難など、少しでも安全と思われる場所へ避難をしましょう。

### ◆避難所での感染予防

○掃除・消毒・換気など  
 ・トイレ、出入口、ドアなど、共有で触る部分の清掃と消毒をしましょう。

・換気は最低でも「2時間毎、10分」を目安に、避難者同士でルールを決めましょう。  
 ・換気のため、空気の流れをできるだけ作りましょう。  
 ・お互い過ごすスペースは、2メートル以上の間隔をあげましょう。

・間仕切りの活用をしましょう。  
 ○咳エチケットと石鹸による手洗いの徹底

・マスクを着用しましょう。マスクがない場合は、ハンカチなどで、口と鼻をカバーできるものを使いましょう。

・手洗い後、タオルは共有しないようにしましょう。

・消毒、手洗いのタイミングは、多くの人が触れたと思われる場所を触った時、配布物をした時、炊き出しをする前、食事の前など、場面の切り替え時に気をつ

けましょう。

台風や風水害などにより避難所を開設した際には、感染予防対策と「自らの命は自ら守る」意識を持ち、災害時の対応や行動を想定しておきましょう。

○お問い合わせ

本庁 健康福祉課 保健衛生係

☎ 43-2836

佐賀支所 地域住民課 保健センター

☎ 55-7373

